

# 平成 28 年熊本地震に係る県立図書館の 被災及び復旧の取組



平成 30 年 10 月

熊本県立図書館

## 目 次

### I 熊本地震の概要

1 平成28年熊本地震の概要	1
2 県内における被災状況	1

### II 熊本県立図書館の被災状況等

1 主な被災写真	3
2 被災状況	11
3 休館・復旧等の措置	13
4 他県からの支援	17
5 市町村支援	19
6 関連資料の収集	19
7 復旧及び開館スケジュール	20
8 平成28年熊本地震による建物等補修復旧工事費内訳書	21

### III 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等

### 参 考

1 ホームページに掲載したお知らせ	27
2 被災図書館の支援	33

# I 熊本地震の概要

## 1 平成28年熊本地震の概要

- ・ 震度6弱以上の地震が7回、うち震度7は28時間内に2回発生（観測史上初）
- ・ 震度6弱以上の大地震に見舞われた県民は本県人口の83%に及び、少なくとも県民の10%以上が避難（阪神・淡路大震災の約2倍）
- ・ 余震回数は4,484回以上（H30.4.30時点）

4月14日21時26分に熊本県熊本地方の深さ11kmでマグニチュード6.5の地震（前震）が発生しました。さらに、28時間後の4月16日1時25分、同地方の深さ12kmでマグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、これらの地震ではいずれも最大震度7を観測しました。なお、同一地域で震度7を2度観測したのは観測史上初めてのことです。

		前震	本震
発生日時		平成28年4月14日 21時26分	平成28年4月16日 1時25分
震央地名		熊本県熊本地方	同左
マグニチュード		6.5	7.3
震度6弱以上を観測した自治体	震度7	益城町	益城町、西原村
	震度6強	なし	熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、嘉島町、南阿蘇村
	震度6弱	熊本市、玉名市、宇城市、嘉島町、西原村	八代市、玉名市、上天草市、阿蘇市、天草市、和水町、菊陽町、御船町、美里町、山都町、氷川町

※ 熊本県危機管理防災課作成「復旧・復興プラン」より

## 2 県内における被災状況（H28.9.14現在 「復旧・復興プラン」より抜粋）

平成28年熊本地震は、熊本都市圏及び阿蘇地方を中心に多数の家屋倒壊や土砂災害など、県内に甚大な被害をもたらしました。

人的被害は2,501人、住家被害は169,253棟で、水道・電気・ガス等のライフラインが広範囲で寸断し、自治体が開設した避難所には最大で183,882人（県人口の約1割）が避難しました。さらに、避難所以外の施設や、グランメッセ熊本などの駐車場・公園・グラウンド等で車中に避難した人が多数発生しました。

(1) 人的被害 (H30.10.22 現在 熊本県危機管理防災課作成資料より)  
 人的被害は、計 3,003 人

	人数
死者	270 人
重傷者	1,183 人
軽傷者	1,550 人
計	3,003 人

<死者の内訳>

- ① 警察が検死により確認している死者数 50 人
- ② 市町村において災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの 215 人
- ③ 6月19日から6月25日に発生した豪雨による被害のうち熊本地震との関連が認められた死者数 5 人

(2) 住家・非住家被害 (H30.10.12 現在 熊本県危機管理防災課作成資料より)  
 住家被害は、197,183 棟

	被害棟数
全壊	8,643 棟
半壊	34,392 棟
一部損壊	154,148 棟
計	197,183 棟

(3) 県内における被害額 (試算) 一覧 熊本県調べ (※1)

項目	被害額	備考
建築物 (住宅関係)	2 兆 377 億円	住家、家財、宅地
水道施設	119 億円	上水道、簡易水道、工業用水道
電気・ガス施設	280 億円	電力、ガス供給設備等
医療・福祉関係施設	758 億円	医療施設、社会福祉施設等
公共土木施設	2,685 億円	道路、橋梁、河川、海岸、港湾、下水道等 (※2)
高速道路	342 億円	九州自動車道等 (※3)
文教施設 (文化財除く)	944 億円	学校、社会教育施設等
その他の公共施設等	736 億円	県有施設、市町村庁舎等
公共交通関係	86 億円	鉄道、バス (南阿蘇鉄道、空港ビル除く)
農林水産関係	1,487 億円	農地、農業用施設、農林水産物、山腹崩壊等
商工関係	8,200 億円	建物、設備等
文化財	936 億円	国指定、県指定、市町村指定及び未指定文化財
廃棄物処理	900 億円	廃棄物処理施設、廃棄物処理費用
計	3 兆 7,850 億円	

※平成28年9月14日時点の数値であり、今後、被害の詳細が明らかになるに連れて変動する可能性がある。

※1 国直轄分は、九州地方整備局分の総額。

※2 国土交通省平成28年度二次補正予算要求額のうち、熊本地震により被災した西日本高速道路株式会社管理する高速道路の災害復旧事業費を計上。

## II 熊本県立図書館の被災状況等

### 1 主な被災写真

(1) 前震後（平成 28 年 4 月 15 日撮影）

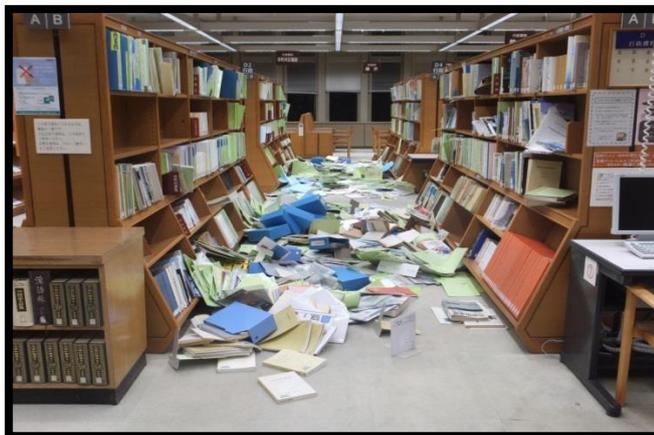
① 2階閲覧室 防煙ガラス破損



② 2階閲覧室状況



③ 3階閲覧室状況



④ 3階閉架書庫状況



(2) 本震後 (平成 28 年 4 月 16 日撮影)

① 中 2 階閉架書庫 自立式書架破損 1



② 中2階閉架書庫 自立式書架破損 2



③ 中3階閉架書庫 自立式書架破損



④ 3階閲覧室 照明落下・破損 1



⑤ 3階閲覧室 照明落下・破損 2



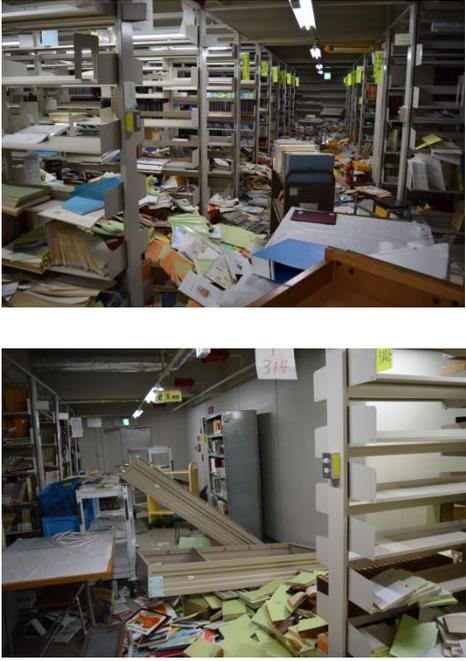
⑥ 3階閲覧室 図書資料飛散状況



(2) 写真から見る前震と本震との比較

	前震：4月14日 (Mj6.5)	本震：4月16日 (Mj7.3)
子ども室		
1階閉架書庫		

	前震：4月14日 (Mj6.5)	本震：4月16日 (Mj7.3)
第一閲覧室		
2階閉架書庫		
第二閲覧室		

	前震：4月14日 (Mj6.5)	本震：4月16日 (Mj7.3)
3階閉架書庫		
4階集密書庫		

	前震：4月14日 (Mj6.5)	本震：4月16日 (Mj7.3)
3階貴重書庫		
4階貴重書庫		
事務室・その他		

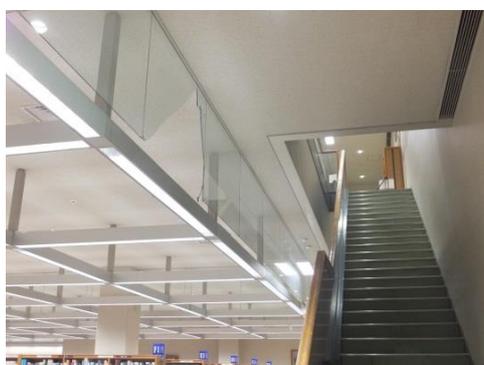
## 2 被災状況

(1) 前震（平成 28 年 4 月 14 日（木）午後 9 時 26 分発生）

資料の落下は 5 割以下。

上階層になるにつれ本の落下の割合が多かったが、4 月 15 日（金）は臨時休館し、職員総動員で片付け作業にあたった。

場所	書架	その他
子ども室	若干の本の落下あり	
第一閲覧室（閉架書庫を含む）	ところどころ本の落下あり	防煙垂壁ガラス破損
第二閲覧室（閉架書庫を含む）	本の落下甚大	
情報支援課		棚たおれ等あり

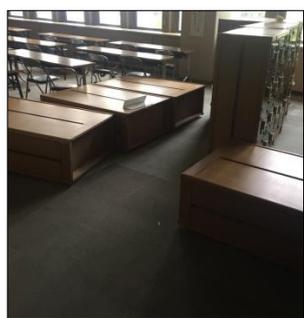


(2) 本震（平成 28 年 4 月 16 日（土）午前 1 時 25 分発生）

- ・ 所蔵資料の 7 割が落下。
- ・ 書架の上段（下 1、2 列目以上）に配架されていた資料は、ほぼ落下。（特に閉架書庫）
- ・ 固定されている新聞棚やパソコン等も倒れ、電気設備も落下し、倒れていない棚もいたる個所でズレ等が生じていた。
- ・ 2 階開架木製書架が移動。木製書架及び BM 書庫内書架には破損もあり。部材自体の交換等の必要はなかったため、職員で修理。
- ・ 2 階ラウンジ（学習スペース）のコインロッカーが倒壊。
- ・ 閉架書庫鋼製棚の一部が傾き、集密書庫の開閉式棚は、はめ込み式棚板ごと落下し、歪みにより、開閉不能となる個所が発生した。
- ・ 3 階、4 階の貴重書庫は、落下被害は見られたものの、2 階、3 階閉架書庫に比べると被害は少なく、古文書等資料自体への大きな影響はなかった。
- ・ 3 階閉架書庫のマイクロフィルムキャビネットが移動。6 台のうち 1 台が故障した。
- ・ 2 階・3 階閉架書庫内照明及び第 2 閲覧室照明が断線等により点灯不可の箇所が多数。
- ・ 情報支援課内及び受入室及び通路等に設置していた鋼製書架、保管庫倒れ、空調吹き出し口部品及び天井設置のスピーカー等の落下（ずれ）等多数。

〈施設の被害状況〉

区分	階数	被害状況	備考
閲覧室内のガラス破損	2階	閲覧室 防煙垂壁ガラス破損（大型 3枚、中型 1枚、小型 2枚）	工事期間 11/8～ 3/13
	3階	閲覧室 防煙垂壁ガラス破損（中型 1枚）	
閲覧室等の照明の破損等	2階	照明天井連結部分破損（多数）	工事期間 11/8～ 3/13
	3階	閲覧室照明破損（8か所） 照明天井連結部分破損（多数）	
閉架書庫の自立式書架のゆがみ	中2階 中3階	自立式閉架書庫のゆがみ	工事期間 12/3～12
コインロッカー破損	2階	コインロッカー破損（4個）	修理不能のため買換え
閲覧室の書架破損	1階	子ども図書室の書架破損（1台）	修理不能のため買換え
トイレ	1階～ 3階	壁タイル破損	工事期間 2/3～3/29
空調	4階	機械室排煙道接続部破損	工事期間 2/6～3/17
文学・歴史館 ガラス破損、展示 ケース破損	1階	北側横ガラスの亀裂破損 展示ケース修復	工事期間 12/5～3/17
外壁	3階	※H29年度施工 第二閲覧室南側外壁雨漏れ修理	工事期間 12/18～ 3/27



### 3 休館・復旧等の措置

#### (1) 休館

平成 28 年 4 月 15 日～平成 29 年 3 月 28 日

(ただし、平成 28 年 6 月 1 日から 1 階部分(子ども図書室、新聞閲覧等)については部分開館)

#### (2) 開館

被害の少なかった 1 階の復旧を優先し、平成 28 年 6 月 1 日から子ども図書室資料貸出及び一般書(新刊のみ)貸出、新聞閲覧(当日分)を 1 階の視聴覚コーナー・ロビーで開始するとともに、市町村支援(配本・子ども文庫)、県内図書館に対する相互貸借も開始した。

業務端末(2 台)を視聴覚受付カウンターに配置し、8 月からは、利用者端末(WEB 検索性 2 台)、複写機(モノクロ 1 台)を追加配置。

12 月に閉架書庫の復旧工事が完了したため、平成 29 年 1 月から提供するサービスを拡大した。

(レファレンス、相互貸借、文献複写、出納による 2 階・3 階資料の提供等の再開)

なお、部分開館時の開館時間は午前 9 時 30 分から午後 5 時 15 分まで。

#### (3) 復旧作業等

4 月 15 日～	復旧作業開始
6 月中旬	復旧作業(資料を元に戻す作業)完了
6 月～7 月	資料の修理及び書架整理
7 月～8 月	古文書の破損等状態調査を実施
8 月 17 日	震災関連資料の収集について、県関係機関、市町村等へ協力依頼
9 月～12 月	書架整理及び配架見直し

#### ※ 関連業務

- ・ 国立国会図書館(NDL)サーチでの本館資料の相互貸借情報(不可)の登録依頼
- ・ 本館システムからの利用者(延滞)への督促メールの一時送信停止及び再開後の例文修正(お見舞い文を追加)
- ・ メールやHPからの送信フォームを使用したレファレンス受付を停止
- ・ 個人・団体からの持込みによる図書寄贈の受付を一時停止

#### ※ 地震発生に伴う対応状況

発生直後は、施設・設備の被害状況の確認と職員の安否確認を実施。

県として地震発生後の対応を 24 時間体制で行うために、図書館でも総務課と学芸調査課の職員が夜間等の待機を行い、緊急事態に備えた。待機は 4 月 28 日まで継続して実施。

## 【復旧作業等の内容】

- ① 地震により移動した書架（開架）の再配置
- ② 落下した資料を横積みにし、その後書架への再配架  
(4月中旬～6月中旬)  
※ 資料の受入れは通常どおり行うこととしたため、資料の配架作業は情報支援課のカウンター担当職員を中心に実施。
- ③ 防煙垂壁（ガラス）の破損箇所付近の書架及び資料のガラス破片除去
- ④ 資料の修理  
※ 修理資料件数：約 3,000 冊
- ⑤ 書架整理及び保護措置  
2階（一部）・3階閲覧室書架及び閉架書庫書架（2階・2M、3階・3M、4階集密）には、落下を防止するために滑り止めシートやPPバンド、ビニールテープ（平テープ）を活用。
- ⑥ 古文書の破損状況の調査

古文書については、文書箱入りや横置きのもは比較的被害が少なく、貴重資料は板帙を使用していたため、資料への大きな被害を防ぐことができた。

休館中の7月から8月にかけて、落下した古文書の全点点検を行った結果、点検総数の16%が資料を閲覧に供することが難しいことが判明した。

(平成28年9月26日現在)

形態	総点検数	点検結果			備考
		A	B	カビ	
古文書	40,267点	2,882点	3,437点	132点	点検結果には、経年変化による状態の悪化を含む。

A 破損甚大・・・状態が悪く、閲覧に供することができない資料。傷みがひどく、職員の取り扱いも難しい。専門業者による修復が必要で、高額な費用がかかるもの。

B 破損あり・・・Aほどではないが、閲覧に供することは出来ない。職員が丁寧に扱えば、内容を確認することは出来る。専門業者による修復が必要。

## (4) 中止または縮小（変更含）した事業

- ・ 第55回熊本県童話発表大会県大会を中止。実施可能な地方大会のみ実施。
- ・ 肥後っ子いきいき読書環境づくり事業・導者養成講座 2回実施の予定を1回実施。
- ・ 子ども読書週間のイベント（「特別おはなし会&ワークショップ（図書館バッグ作り）」「なが〜く愛されている絵本展」）の中止
- ・ 定例おはなし会については、水曜おはなしの時間を6回、土曜おはなし会を3回中止（中止期間：4月15日～5月31日）
- ・ 教育センター課題別研修Ⅰ「学校図書館事務職員実践研修」(6月6日(月))を中止。

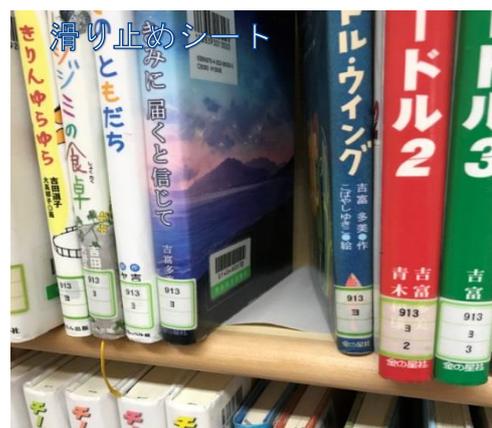
- ・ インターンシップ、ナイストライ等の受入れ中止。
- ・ 毎年実施している「たのしい絵本展」のテーマを変更し、「守りたい、ゆたかな暮らし」のテーマで実施（11月19日～30日）。  
震災やそれを乗り越えることを主旨とした絵本・児童書80冊を展示。  
終了後は県内公共図書館や学校図書館へ展示パネルも含めて巡回貸出を実施。
- ・ 例年開催していた「本活フェア」については、地震の影響や収容能力等の観点から、リサイクル本の収集や管理が困難な状況となったため、リサイクル本の収集は行わず、規模を縮小して図書館1階ロビー（一角）にて実施（計画期間：平成29年2月1日～2月27日）。  
好評につき、2月20日には保有していた5,710冊の本すべてを配布完了。

◇ 本館で実施予定の中止

- ・ ビジネス支援起業・経営無料相談会
- ・ ビブリオトーク（熊本市立図書館との共催事業）
- ・ 「県立図書館 de がん相談」（県健康づくり推進課との共催）
- ・ 蔵書点検
- ・ 図書館関係職員全体研修会の別会場での実施
- ・ 図書館活動振興協議会（図振協）理事会・総会の別会場での実施

(5) 対処策等

- ・ 雑誌等薄い資料は、並び替えに苦慮したため、ひとまとめに括って配架。
- ・ 今後の余震等に備え、書架の上段（1、2段目以上）には、PPバンド（不足分はビニール紐等）を棚ごとに張り、滑り止めシート「安全安心シート」も活用して、落下による被害の拡大防止に努める。
- ・ 書架の上部等、落下の危険性がある場所にはなるべく配架しない。



(6) 復旧工事に伴う対応等

- ・ 閉架書庫内書架の破損部修繕工事のため、(中2階及び中3階閉架書庫の一部)資料を梱包、移動が必要となった。また、各室が照明、天井の修繕工事の工事エリアとなり、梱包後の資料の仮置き場が制限されたため、3階大研修室、各閲覧室内、BM書庫等に分散して仮保管した。
- ・ 閉架書庫修繕工事完了後(12月)、業務の一部再開(2階・3階資料の出納による閲覧)に向けて、再配架。併せて、2階閲覧室及び2階・中2階閉架書庫については、ビニールテープ(平テープ)による落下防止措置を解除した。
- ・ 1月31日公立社会教育災害復旧費補助金事業の現地調査(現地査定:文部科学省、九州財務局)対応。

(7) 防災訓練

平成28年11月4日、午前10時から県下一斉の「熊本シェイクアウト訓練」を実施。

(8) 防災対策

平成29年1月6日、ヘルメットと懐中電灯を1階の仮閲覧室に配備。

(9) その他

① 分担保存雑誌について

「熊本地震からの復旧・復興プラン」の実施に伴う予算削減措置により、全館的に資料費の削減が必要となり、そのうち雑誌についても大幅に(20誌程度)購入を停止することになった。

そのような中、分担保存雑誌の購入費は、当館の雑誌購入費の約30%を占めていたため、それらに係る予算の確保・購入を継続させることが厳しい状況となり、「平成28年度九州各県立及び政令指定都市立図書館経営・サービス実務者会議」において、熊本県が担当する分担保存雑誌の移行について協議し、全加盟館より協力可能な旨了承を得て、当館が主体となり、調整を図ることになった。

## 4 他県からの支援

### (1) 国会図書館

平成 28 年 7 月 27 日から 29 日までの 3 日間、国立国会図書館から職員 2 名の派遣を受け、資料の修理について館内研修（実演指導）を実施した。

この研修期間中に修理した資料は 84 点。

なお、要修理資料のうち専門的技術（解体等）が必要とされる 5 冊については、修理を国会図書館へ依頼した。



#### ◆ 修理依頼資料

	書名(漢字)	著者名	出版社	出版年	サイズ	破損状況
1	東亜 第 4 卷 昭和六年下半期	雑誌 製本)	東亜経済調査局			綴じの紐切れ、 綴じ直し
2	立春	日本山妙法寺 / 編	日本山妙法寺	1979	31 cm	無線綴じ、解体 が必要
3	硝煙弾雨丁丑感旧録	宇野 東風 / 編	丁丑感旧会	1927	23 cm	綴じの紐切れ、 綴じ直し
4	山崎博士の演説と文章	山崎博士古稀祝賀 会 / 編	山崎博士古稀祝 賀会	1941	22 cm	本の中心が割 れて、糸が切れ る危険有
5	レプラ 第 1 ~ 3 卷 (昭和 5 ~ 7 年)	大坂皮膚病研究所 / 編	大坂皮膚病研究 所	1932	26 cm	綴じの紐切れ、 綴じ直し

### (2) 他県の図書館からの支援の申し出

#### 〈職員派遣〉

※ 他県の図書館職員の派遣の受入れなし。

理由：地震発生後から平成 28 年 5 月 31 日までの休館期間、6 月 1 日から平成 29 年 3 月 28 日までの一部休館期間における当館職員による作業により復旧が可能であると判断したため。

〈業務（レファレンス等）支援〉

- ・ 鳥取県立図書館（レファレンス支援、被災者支援情報のHPへの掲載）
- ・ 東京都立中央図書館（レファレンス支援）
- ・ 大阪府立中央図書館（レファレンス支援）
- ・ 岡山県立図書館（レファレンス支援）
- ・ 福岡県立図書館（被災者支援情報のHP掲載及び避難者への資料貸出）
- ・ 愛媛県立図書館（被災者支援情報のHPへの掲載）
- ・ 愛知県立図書館、小郡市立図書館他多数（避難者への資料貸出）
- ・ 京都府立図書館他多数（義援金募金箱の設置）
- ・ 三重県立図書館他多数（災害ボランティア募集等に関する情報提供）

（3）物資の支援

① 国立国会図書館

修理道具

防護服パック（カビ対策用）、中性紙（簡易帙用）、クラフト紙、  
ボンドのり、でんぷんのり、裁断用刃物、カッターマット、  
和紙（修理用各種）、保存用綿テープ

② キハラ㈱

軍手、マスク、タオル、消毒液、安全安心シート、安全安心ライン  
業務用消臭剤

③ ナカバヤシ㈱

段ボール

④ 日本通運（職員の知人）

PPバンド、ストッパー

⑤ 味の素㈱

書籍「復興ごはん」（本館及び県内すべての公共図書館等に寄贈）

（4）その他の支援

日本図書館協会の図書館災害対策委員会委員による被害状況把握のための調査が行われ、委員から館内の点検、安全確保、資料保全や開館判断等に関する助言を受ける。

## 5 市町村支援

- ・6月1日、貸出文庫の再開及び相互貸借（県内市町村のみ）を再開（再掲）
- ・県内公共図書館等巡回訪問による被害状況及び再開館状況の把握（25館）
- ・図書館関係職員等全体研修会でのワークショップを実施

開催日：平成28年12月5日

場 所：山鹿市鹿本市民センター

テーマ：①「図書館の危機管理について～熊本地震による被災を踏まえて」  
群馬県草津町立温泉図書館 中沢孝之氏

②大津町立図書館及び益城町立図書館の震災からの業務再開に向けた取り組みに関する事例報告

## 6 関連資料の収集

今回の地震について、永く後世に引き継ぐとともに、今後の防災教育や調査研究へ活用するため、次のとおり関連資料の収集を8月17日から着手した。

### (1) 収集資料

平成28年熊本地震に関する行政機関・各種団体・個人による被災から復興までの記録及び関連資料。ただし、イベント等のポスターやチラシ、儀式での式辞・挨拶のことは、動画や写真等の電子データを除く。

#### <郷土・行政資料>

- ・冊子、活動記録集、調査報告書、手記、体験記録等を関連資料として、受入を行った。

#### <雑誌>

- ・購入及び寄贈雑誌のうち、「熊本地震」関連記事が掲載されているものは、典拠検索が可能となるよう内容細目に入力のうえ、受入を行った。

#### <新聞>

- ・熊本地震後に情報発信のため発行された新聞等は、自館製本等により、関連資料として受入を行った。  
また、熊本日日新聞に掲載された関連記事は、スクラップ用として切り抜き、受入を行った。
- ・一定期間に「熊本地震」の記事が掲載された全国の新聞について、新聞協会会員各社あて寄贈を依頼し、収集した新聞は、業者委託による製本のうえ、受入を行った。

H30.10.31 現在

分類	収集（受入）点数
郷土資料	641点
行政資料	502点
雑誌・新聞	203点

## 7 復旧及び開館スケジュール

年	平成28年									平成29年		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な復旧工事・修繕												
図書館開館状況等												

**主な復旧工事・修繕**

- 照明その他工事 (工期: H28.11.7~3.13)
- 閉架書庫復旧修繕業務 (工期: H28.10.24~12.28)
- トイレタイル復旧修繕業務 (作業期間: H29.2.27~3.1)
- 煙道接続部修繕 (作業期間: H29.2.14)
- ガラス外壁修繕 (作業期間: H29.2.8~2.13)
- 行灯ケース修繕 (作業期間: H28.12.5~H29.1.11)

**図書館開館状況等**

- 熊本地震による休館 H28.4.14~5.31
- 子ども図書室を中心とした1階部分開館 (児童書・新刊のみ貸出等) H28.6.1~
- くまもと文学・歴史館全面開館 H28.6.15~
- サービス内容拡大 (貸出図書の拡大、レファレンスサービス) H29.1.6~
- H29.3.29~ 図書館全面開館

8 平成28年熊本地震による建物等補修復旧工事費内訳書

区分	階数	被害内容	数量	単位	金額
閲覧室等の照明の破損等	3階	閲覧室照明破損(8箇所) 照明天井連結部分破損(多数)	1	式	47,199,693
	3階	大研修室照明破損(1箇所)			
	2階	照明天井連結部分破損(多数)			
	2階	応接室照明破損(2箇所)			
	2階	会議室照明破損(4箇所)			
	3階	閲覧室 防災垂壁ガラス破損(中型1枚)			
閉架書架の書庫破損	中2階	閉架書架の自立式ゆがみ	1	式	2,808,000
	中3階	閉架書架の自立式ゆがみ			
子ども図書室	1階	子ども室書架破損 (組立式書架 傾斜腹式3段)	1	台	182,736
トイレのタイル破損	3階	利用者用女子トイレタイル亀裂(多数)	1	式	733,590
	3階	利用者用男子トイレタイル破損			
	2階	利用者用女子トイレタイル亀裂(多数)			
	2階	利用者用男子トイレタイル破損			
	1階	利用者用女子トイレタイル亀裂(多数)			
	1階	利用者用男子トイレタイル破損			
空調関係	4階	機械室空調(排煙用)ダクト連結部分破損	1	式	216,000
	2・3階	ステンレス製ドアフロアヒンジ及びフランス落とし破損			
閲覧室(2階、3階)	2階	コインロッカー破損	4	台	997,920
	3階	積石モルタル補修	1	式	64,800
外壁	3階	第二閲覧室南側外壁雨漏れ修理	1	式	1,863,000
	1階	北側ガラス破損	1	式	303,069
文学・歴史館	1階	展示ケース(行燈ケース)破損	1	式	1,624,752
	各所	段ボール(無地 大)	1,600	枚	198,720
復旧にかかる準備物	3階	もんじょ箱	20	個	65,880
	3階	アーカイバルボード(830×1200)	20	枚	
合計(消費税含む)					56,349,960

Ⅲ 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等①

平成30年6月30日現在

市町村名	図書館名	被害の有無	① 被害有の場合 被害状況（施設・設備） 被害額（概算）	休館の有無 （期間）	地震後の 全面開館日	① 復旧の状況 （復旧工事実施の場合は事業費を記入のこと）
			② 被害有の場合 被害状況（資料）			② 被災を受けての対応策
熊本市	熊本市立図書館	有	① ・移動棚・書架の破損、歪み・ 書架番号表示板の落下 ・水道管破損による漏水・空調吹き出し口の落下 ② 落下による除籍91冊 カセットテープ・ビデオテープ 2,306点	有 (H28.4.14～ H28.4.20)	H28.4.21	① ・屋外地下散水栓用給水管漏水修繕 51,948円 ・移動棚及び書架震災復旧修繕 473,040円 ・ロッカー鍵交換修繕 48,600円 ・ロッカーケーシング交換修繕 38,232円 ・集会室扉他修繕 91,800円 ② ・落下した資料の書架への再配架 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
	熊本市立城南図書館	有	① ・内外壁の剥落・天井の防災垂壁の破損 ・書架の破損、歪み・端末破損 ② 水濡れ等による除籍19冊	有 (H28.4.14～ H28.5.1)	H28.5.2	① ・熊本市立城南図書館震災緊急復旧工事 （内壁、外壁、防煙垂れ壁等） 7,776,000円 ・熊本市立城南図書館震災復旧工事 （事務室等内装・外構等） 2,430,000円 ② ・落下した資料の書架への再配架 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
	熊本市立植木図書館	無	① 施設・設備については被害なし ② 館内の除籍0冊	有 (H28.4.14～ H28.4.18)	H28.4.19	① ・被害なし ② ・落下した資料の書架への再配架 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
	熊本市立とみあい図書館	有	① ・電動棚制御盤破損 ・天井の一部崩落 ・冷却装置からの水漏れ ・ライト、空調等の吹き出し口部分落下 ② 天井落下による除籍177冊 （うち雑誌127冊）	有 (H28.4.14～ H28.5.16)	H28.5.17	① ・電動書架制御盤修繕 719,280円 ・天井及び冷却装置漏水の修繕 ・ライト、空調吹き出し口部分を元の位置に設置 ② ・落下した資料の書架への再配架 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
	くまもと森都心プラザ図書館	有	① ・書架から本の落下・配管等の破損による水漏れ ・カウンター案内板の破損・階段部分の一部崩落 ② 水濡れによる除籍1,302冊	有 (H28.4.14～ H28.5.5)	H28.5.6	① ・くまもと森都心プラザ復旧工事（ビル全体） （建築・機械・電気） 341,150,400円 ② ・落下した資料の書架への再配架 ・避難経路にあたる書架に滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
八代市	八代市立図書館	有	① ・2階、3階に亀裂 ・1階天井照明のフレームの歪み ② 4割程度の資料が落下	有 (H28.4.16 ～4.17 H28.4.20 ～4.27)	H28.4.28	① ・落下した資料の書架への再配架 ・復旧工事実施済み 事業費：142,560円 ② 閉架書架に滑り止めシートを貼り、落下防止を図った。
	八代市立図書館せんちょう分館	有	① 本棚の転倒 ② 2割程度の資料が落下、資料の破損	有 (H28.4.16 ～4.17 H28.4.20 ～4.24)	H28.4.25	① 落下した資料の書架への再配架 ② 特に無し
	八代市立図書館かがみ分館	有	① ・本棚の転倒、破損 ・館内天井設置火災報知器の落下 ② 3割程度の資料が落下	有 (H28.4.15 ～4.17 H28.4.20 ～4.24)	H28.4.25	① 落下した資料の書架への再配架 ② 転倒するおそれがある書架を撤去。
人吉市	人吉市図書館	有	① ・CD空ケース破損6枚 ② 無	有 (H28.4.29 ～5.8) 休館は市本庁舎の機能移転に伴うもの	H28.4.16	① ・破損したCD空ケースの処分 ② 平成29年度後半から土・日・祝日のうち利用者が多い日に限り学習室（平日は会議室）を開放。 平成30年度夏休み期間中は土・日・祝日のみ常時学習室として開放。

Ⅲ 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等②

平成30年6月30日現在

市町村名	図書館名	被害の有無	① 被害有の場合 被害状況(施設・設備) 被害額(概算)	休館の有無 (期間)	地震後の 全面開館日	① 復旧の状況 (復旧工事実施の場合は事業費を記入のこと)
			② 被害有の場合 被害状況(資料)			② 被災を受けての対応策
荒尾市	荒尾市立図書館	無	—	無	—	—
水俣市	水俣市立図書館	無	—	無	—	—
玉名市	玉名市民図書館	有	① 被害状況:防煙垂れ壁 被害額:47,520円≒48,000円 ② 10冊程度の図書資料落下	有 (H28.4.16~ H28.4.17)	H28.4.19	① ・落下した資料の書架への再配架 ② ・書架の上部等、落下の危険性のある場所 には配架しない。
	玉名市 岱明図書館	有	① 被害状況:掲示板の落下 被害額:なし ② 3割程度の図書資料が落下	有 (H28.4.16~ H28.4.24)	H28.4.26	① ・落下した資料の書架への再配架 ② ・書架の上部等、落下の危険性のある場所 には配架しない。
	玉名市 横島図書館	有	① 被害状況:外壁亀裂、天井扇 歪み修復、屋上防水修繕 (以上全て修理済) 本棚の転倒(原状復帰) 被害額:736,560円≒737,000円 ② 4割程度の図書資料が落下	有 (H28.4.16~ H28.4.17)	H28.4.18	① ・被害箇所の確認 ② ・外壁の亀裂修繕
山鹿市	山鹿市立 ひだまり図書館	無	① — ② 落下はあり	無	H28.4.15~現在	① ・地震により落下した資料の書架への 再配架 ② ・地震の際の注意喚起案内を館内に掲示 した。 ・揺れがあった際の書架が安全か確認を 行った。 ・書架の上にあった資料を、書架内に全て 配架した。
	山鹿市立 こもれび図書館	無	① — ② 落下はあり	無	H28.4.15~現在	① ・地震により落下した資料の書架への再配架 ② ・地震の際の注意喚起案内を館内に掲示した。 ・揺れがあった際の書架が安全か確認を行った。 ・書架の上にあった資料を、書架内に全て配架 した。
菊池市	菊池市 泗水図書館	有	① 天井の空調部分に隙間有 (修理済) ② 本棚から本が3~4割程度落下	有 (H28. 4. 16 ~5. 5)	H28.5.6	① ・空調部分の修理済 ・落下した本を本棚に戻す ② —
	菊池市 七城図書館 (地震当時は七城 公民館図書室)	有	① 被害なし ② 本棚から本が数冊落下	有 (H28.4.16 ~4.27)	H28.4.28	① 落下した本を本棚に戻す ② —
	菊池市 旭志図書館 (地震当時は旭志 公民館図書室)	有	① ガラス破損(応急対応)・一部書 架破損(応急対応)・壁にクラック ・天井空調に隙間・プリンター不調 ② 本棚から本が8割以上落下・本の 破損(10冊程度)	有 (H28.4.16 ~5.6)	H28.5.7	① ガラス破損修理・破損書架は廃棄・壁クラック ・空調・プリンター修理済 落下した本を本棚に戻す ② —
	菊池市 中央図書館 (地震当時は中央 公民館図書室)		① 天井にクラック(建物の安全性 確認済) ② 本棚から本が20冊程度落下	有 (H28.4.16~ 4.27)	H28.4.28	① 落下した本を本棚に戻す ※中央公民館図書室は、新館建設に伴い解体 された。 ※菊池市中央図書館開館(平成29年11月25日) ② —

Ⅲ 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等③

平成30年6月30日現在

市町村名	図書館名	被害の有無	① 被害有の場合 被害状況(施設・設備) 被害額(概算)	休館の有無 (期間)	地震後の 全面開館日	① 復旧の状況 (復旧工事実施の場合は事業費を記入のこと)
			② 被害有の場合 被害状況(資料)			② 被災を受けての対応策
宇土市	宇土市立図書館	有	① ・ガラス破損・書架損壊及び倒壊 ・壁亀裂・鋼製書架が傾き、配架不能	有 (H28.4.14～ H28.5.9)	H28.11.12	① ・ガラス破損個所の補修(187千円) ・壁、タイル破損個所の補修(854千円) ・破損した開架書架の補修(3,399千円)
			② 8割程度の資料が落下。			② ・書架が倒れないよう、ビス止めを行った。 ・書架の上部には、重い資料を配架しない。 ・書架の上部に、落下防止のスライド柵を設置した。
上天草市	上天草市立中央図書館	無	—	有 (H28.4.16)	H28.4.17	① 特になし
			—			② ・倒れやすいもの、出入り口付近にある物の撤去 (余震が続いている間) ・地震対応時の対応について市からマニュアルの配布
	上天草市立大矢野森記念図書館	無	—	有 (H28.4.16、 H28.4.20～ H28.4.24)	H28.4.25	① 特になし
			—			② ・倒れやすいもの、出入り口付近にある物の撤去 (余震が続いている間) ・地震対応時の対応について市からマニュアルの配布
上天草市立姫戸図書館	無	—	有 (H28.4.16)	H28.4.17	① 特になし	
		—			② ・倒れやすいもの、出入り口付近にある物の撤去 (余震が続いている間) ・地震対応時の対応について市からマニュアルの配布	
上天草市立龍ヶ岳図書館	無	—	有 (H28.4.16)	H28.4.17	① 特になし	
		—			② ・倒れやすいもの、出入り口付近にある物の撤去 (余震が続いている間) ・地震対応時の対応について市からマニュアルの配布	
宇城市	宇城市立中央図書館	有	① 被害の状況 天井部のルバーが落下、破損。 壁に取り付け書棚の破損、落下。 ガラス破損3か所。閉架書庫の 移動式書架の破損。 被害額 52,057千円	H28.4.14 ～H29.7.6	H29.7.7	① 復旧の状況 ・ルバーの落下部分の取付調整。 ・空調機の調整。 ・ガラス破損部の取替。 ・移動式書架の破損部の取替。
			② 5割程度の資料落下			② 被災を受けての対策 ・ルバーを吊り上げ部の補強 ・移動式書架のすじかいを補強した。
	宇城市立三角図書館	無	—	H28.4.14 ～H28.4.19	H28.4.20	—
			—			—
宇城市立小川図書館	無	—	H28.4.14 ～H28.4.19	H28.4.20	—	
		—			—	
宇城市立中央図書館豊野分館	無	—	H28.4.14 ～H28.4.19	H28.4.20	—	
		—			—	
阿蘇市	阿蘇市立阿蘇図書館	有	① 防災ガラス破損、玄関前タイル破損、閉架書庫移動書架破損、利用者用ロッカー転倒により破損、事務用 スキャナー落下により破損	H28.4.16 ～H28.4.29	H28.4.30	① 防災ガラス修繕 事業費:184,386円 玄関前タイル修繕 事業費:140,400円 閉架書庫移動書架修理 事業費:163,080円 備品ロッカー新規購入 事業費:324,000円 スキャナ新規購入 事業費:172,800円
			② 全体の3割程度の資料が落下			② 落下の危険性がある場所に配架しない。
阿蘇市	阿蘇市立一の宮図書館	有	① 木製書架破損	H28.4.16 ～H28.4.29	H28.4.30	① 木製書架を新規購入 事業費:71,280円
			② 全体の2割程度の資料が落下			② 書架の点検及び整備を実施した。 書架上部の図書の撤去を実施した。 余震に備え、一般書コーナーへの子どもの立ち入りを禁止した。 書架側面に注意書きを設置した。

Ⅲ 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等④

平成30年6月30日現在

市町村名	図書館名	被害の有無	① 被害有の場合 被害状況(施設・設備) 被害額(概算)	休館の有無 (期間)	地震後の 全面開館日	① 復旧の状況 (復旧工事実施の場合は事業費を記入のこと)
			② 被害有の場合 被害状況(資料)			② 被災を受けての対応策
天草市	天草市立中央図書館	無	— —	無	—	— —
	天草市立牛深図書館	無	— —	無	—	— —
	天草市立御所浦図書館	無	— —	無	—	— —
	天草市立河浦図書館	無	— —	無	—	— —
合志市	合志市立西合志図書館	有	① ・ガラス破損(防煙区画ガラス) ・空調設備脱落・閲覧室他照明器具脱落・書架破損・書架の傾き 被害額:4,975,819円 ② ・資料の落下(約9万点) ・数点の資料破損	有 (H28.4.16~ H28.5.19)	H28.5.20	① ・地震により移動した書架の再配置 ・落下した資料の書架への再配架 ・ガラスの破損個所付近の書架及び資料のガラス破片除去 ② ・天井の照明を落下しにくいものに取り替えた。 ・書架の上部等、落下の危険性のある場所には配架しない。 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。 ・地震等災害対応マニュアルを策定した。
	合志市立ヴィーブル図書館	有	① ・天井配管の破損による水漏れ ・水濡れによる視聴覚機器破損 ・書架及び椅子の破損・量の水濡れ・カウンター上部インフォメーション照明機器の天井部分破損・検索機器落下 被害額:4,000,687円 ② ・資料の落下(約7万点) ・水濡れによる除籍4,909冊	有 (H28.4.14~ H30.4.7)	H30.4.8	① ・地震により移動した書架の再配置 ・落下した資料の書架への再配架 ・ガラスの破損個所付近の書架及び資料のガラス破片除去 ② ・天井の照明を落下しにくいものに取り替えた。 ・書架の上部等、落下の危険性のある場所には配架しない。 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。 ・地震等災害対応マニュアルを策定した。 ・水損資料の買いなおし
	合志市立泉ヶ丘市民センター図書館	有	① ・書架の破損 被害額:172,368円 ② ・資料の落下(約9千点)	有 (H28.4.14~ H28.4.30)	H28.5.1	① ・地震により移動した書架の再配置 ・落下した資料の書架への再配架 ・ガラスの破損個所付近の書架及び資料のガラス破片除去 ② ・天井の照明を落下しにくいものに取り替えた。 ・書架の上部等、落下の危険性のある場所には配架しない。 ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。 ・地震等災害対応マニュアルを策定した。
南関町	南関町立図書館	無	— —	無	—	— —
長洲町	長洲町図書館	無	— —	有 (H28.4.16~ H28.4.17)	H28.4.18	— —
大津町	大津町立おおづ図書館	有	① 開架部分の書架破損・書庫の電動棚が故障 ロビー天井破損・遊歩道陥没 ② 95%程度の資料が落下。 100冊程度破損	有 (H28.4.17~ H28.5.2)	H28.8.30	① ・電動式移動棚修繕(事業費:1,435,320円) ・ロビー天井修繕(事業費:66,096円) ・遊歩道修繕(事業費:75,816円) ② ・書架の上段には滑り止めシートを活用して落下防止を図った。
菊陽町	菊陽町図書館	有	① 書架が2脚倒れる(本震) ② 3万冊程度の資料が落下。 (本震)	有(H28.4.15~ 4.20)	H28.4.21 (夜間開館再開は H28.5.19)	① ・落下した資料を書架へ戻す ・倒れた書架2脚を元に戻す ② ・書架の資料を奥に押し込んだ(地震前は棚板でそろえていた) ・テラス入口、近くに非常口の案内を掲示 ・書架や窓の近くに注意喚起を掲示

Ⅲ 県内公共図書館の被災状況及び復旧状況等⑤

平成30年6月30日現

市町村	図書館名	被害の有無	① 被害有の場合 被害状況（施設・設備） 被害額（概算）	② 被害有の場合 被害状況（資料）	休館の有無 （期間）	地震後の 全面開館	① 復旧の状況 （復旧工事実施の場合は事業費を記入）	② 被災を受けての対応策
御船町	御船町立図書館	無	—	—	有 (H28.4.~ H28.7.)	H28.7. (罹災証 書発行所 及び避難 所になっ ため休館)	① 特になし	② 特になし
益城町	益城町図書館 (交流情報センター)	有	① ・天井照明落下・視聴覚室一部破損・移動棚破損、 ・出入りロスロープ破損 ・視聴覚室放送設備破損 ・駐車場舗装割れ 被害額(国査定額5億8百万円)	② 9割の資料落下	有 H28.4. ~ H28.9.	H28.10	① 現在復旧工事待ち状態 図書館内天井照明は事前着工にて落 物に改修済み  国査定額508,000,000円	② 館内に避難経路図を掲示 ヘルメットを置き来客者が使えるよう 避難経路のドアのカギを開錠する。 ・天井照明落下→事前着工にて改修 ・視聴覚室壁一部破損→改修工事待 ・移動棚破損、不動→改修済み ・出入りロスロープ破損→改修工事待 ・視聴覚室放送設備破損→改修工事 ・駐車場舗装割れ→改修工事待ち
山都町	山都町立図書館 本館	有	① 掛け時計落下破損・花瓶 破損・額落下破損・内装 れ複数 旧館・新館の接 に隙間が生じる 屋根葺き材の剥離・落下	② 2割程度の資料の落下	有 (H28.4. 4.18)	H28.4.	① ・地震により落下した資料の書架へ ・時計・花瓶落下の為、ガラス破損 架及び資料の破片等除去 ・底のクラックをモルタル補修した ・外壁のクラックをモルタル補修した ・内装のクラックを取り外して新調 ・図書システムを新たに購入	② ・災害時対応の話し合い・訓練等を行 ・落下の危険性のある場所への配架 ・災害時にどう動くかの貼り紙をした
山都町	山都町立図書館 清和分館	有	① 廊下一部天井垂れ下がりが 部分的ひび割れ	② 2割程度の資料の落下	有 (H28.4. 4.18)	H28.4.	① ・地震により落下した資料の書架への	② ・災害時対応の話し合い・訓練等を行 ・落下の危険性のある場所への配架 ・災害時にどう動くかの貼り紙をした
山都町	山都町立図書館 蘇陽分	有	① 内壁ひび割れ複数	② 2割程度の資料の落下	有 (H28.4. 4.18)	H28.4.	① ・地震により落下した資料の書架への	② ・災害時対応の話し合い・訓練等を行 ・落下の危険性のある場所への配架 ・災害時にどう動くかの貼り紙をした。
氷川町	氷川町立 八火図書館	有	① ・パネルボードが倒れる。 表面のガラスの破損は約 (150×100cm) ・閲覧室他照明器具カ ② 分類5の料理、手芸の図 が落下 破損汚濁		有 (H30.2. 2.28午	地震直後 には閉館 はなし	① ・外れていた照明器具の取り付け ・地震で隙間ができた天井(屋根の補 修理 ・換気用ダクトの位置の復元	② ・照明器具をもとの状況に固定し確認 ・補修に当たって、補強材を取り付け ・もとの状態に固定した。
芦北町	芦北町立図書館	無	—	—	無	—	—	—
錦町	錦町図書館	無	—	—	無	—	② 被害等はなかったが、図書館内の本 措置をとった。	—
あさぎり	あさぎり町 生涯学習セン 図書館	無	—	—	無	—	—	—
	あさぎり町 深田校区公民 図書館	無	—	—	無	—	—	—
	あさぎり町 深田校区公民 図書館	無	—	—	無	—	—	—

## 1 ホームページに掲載したお知らせ（掲載順）

## お知らせ

2016.04.15

## 4月15日(金)～17日(日)の臨時休館について

平成28年4月14日発生しました地震の影響により、4月15日(金)～17日(日)まで臨時休館とさせていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

[▶ 戻る](#)

## お知らせ

2016.04.16

## 休館期間中の図書等のご返却について

地震の影響による臨時休館期間中の図書の返却については、図書館入口の返却ポストをご利用ください。

なお、返却ポストへのご返却をいただくことができない特別資料(エプロンシアター、大型絵本等)については通常開館となり次第、ご返却いただきますようお願い申し上げます。

[▶ 戻る](#)

## お知らせ

2016.04.17

## 臨時休館日の延長について

平成28年4月18日(月)以降も、お客様の安全を確保するため、しばらく休館いたします。

なお、開館につきましては、改めてお知らせします。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

[▶ 戻る](#)

## お知らせ

---

2016.04.20

### レファレンスの依頼について

地震による被害のため、本館資料の取出しができない状況になっています。

ご迷惑をおかけしますが、当面の間、電話・メール等を含むすべてのレファレンス(相談業務)依頼には対応できませんので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。

[▶ 戻る](#)

## お知らせ

---

2016.04.20

### (図書館向け)複写物の郵送について(郵送複写)

地震による被害のため、資料の出納ができない状況です。

当面の間、資料の複写物の郵送依頼(郵送複写)は、お受けできませんので、ご了承願います。

なお、再開の際は、本館ホームページ等でお知らせいたします。

[▶ 戻る](#)

## お知らせ

---

2016.05.19

### 臨時休館について

現在、熊本地震の影響により臨時休館中です。

開館の見込みが立ちましたら、改めてお知らせします。

[▶ 戻る](#)

2016.05.23

開館について

平成28年5月23日

## 熊本県立図書館の部分開館について

平成28年熊本地震による影響で臨時休館していましたが、下記の通り一部を開館します。

### 記

- 1 開館日時：平成28年6月1日（水）から
- 2 開館時間：午前9時30分から午後5時15分まで
- 3 休館日：火曜日  
毎月最終金曜日（夏休み期間中は除く）
- 4 開館場所：[1階の子ども図書室及びくまもと文学・歴史館（展示室2・3）](#)
- 5 提供できる業務：
  - (1) 子ども図書室図書の出貸・返却
  - (2) 子ども図書室開架・閉架を利用したレファレンス
  - (3) 子ども文庫、配本貸出
  - (4) 子ども図書室での「おはなしの時間」
  - (5) 一般図書（新刊のみ）の出貸・返却
  - (6) 新聞（当日分のみ16紙）の閲覧
  - (7) くまもと文学・歴史館の展示室2及び3の展示品見学
- 6 その他

2階、3階に関しては、[天井照明機器等の被災箇所の修理](#)が完了し、お客様の安全が確認出来次第、随時開館します。

- 7 お問い合わせ先

熊本県立図書館 電話（096）384-5000

※なお、新たな情報につきましては随時お知らせ欄に更新していきます。

▶ 戻る

2016.06.01

## 開館について

平成28年6月1日

### 熊本県立図書館の部分開館について

平成28年6月1日から、下記の通り一部を開館しています。

#### 記

- 1 開館時間：午前9時30分から午後5時15分まで
  - 2 休館日：火曜日  
毎月最終金曜日（夏休み期間中は除く）
  - 3 開館場所：[1階の子ども図書室及びくまもと文学・歴史館（展示室2・3）](#)
  - 4 提供できる業務：
    - (1) 子ども図書室図書の貸出・返却
    - (2) 子ども図書室開架・閉架を利用したレファレンス
    - (3) 子ども文庫、配本貸出
    - (4) 子ども図書室での「おはなしの時間」
    - (5) 一般図書（新刊のみ）の貸出・返却
    - (6) 新聞（当日分のみ16紙）の閲覧
    - (7) くまもと文学・歴史館の展示室2及び3の展示品見学
  - 5 その他  
2階、3階に関しては、天井照明機器等の被災箇所の修理が完了し、お客様の安全が確認出来次第、随時開館します。
  - 7 お問い合わせ先  
熊本県立図書館 電話（096）384-5000
- ※なお、新たな情報につきましては随時お知らせ欄に更新していきます。

▶ 戻る

2016.06.16

## 開館状況について

平成28年6月16日

### 熊本県立図書館の開館状況について

平成28年6月15日より、くまもと文学・歴史館の展示室1が開覧可能となりました。

現在、「アーカイブズに見るくまもと3」を開催しております。

▶ 戻る

### 「平成28年熊本地震」に関する資料の提供について（お願い）

2016.08.17

## 資料の提供について(お願い)

この度の熊本地震で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

熊本県立図書館も熊本地震で被害を受け、建物の補修が必要なため、長期の部分開館を余儀なくされております。今後のサービスの拡大や全面開館等につきましては改めてホームページ等でお知らせいたします。利用者の皆様には大変な御不便をおかけしておりますことにお詫びを申し上げます。

さて、当館では、今回の地震に関連する被災から復興までの記録や関連資料を収集し、永く後世に引き継ぐとともに、今後の防災教育や調査研究への活用等のために公開していきたいと考えています。

つきましては、この趣旨に御賛同いただける方は、熊本県立図書館に資料を御提供くださいますようお願い申し上げます。

#### ◇ 収集する資料

平成28年熊本地震に関する行政機関・各種団体・個人による被災から復興までの記録及び関連資料。

ただし、イベント等のポスターやチラシ、儀式での式辞・挨拶のことば、動画や写真等の電子データを除く。

〈例〉

- ・図書・雑誌等の冊子、九州圏域外の新聞
- ・論文
- ・救助、復旧活動等の計画書、活動記録集、調査報告書
- ・講演会、学会、シンポジウム等の資料
- ・手記、体験記録、避難所たよりなど

#### ◇ 寄贈の方法

・寄贈の際は、「[寄贈申込書](#)」を作成のうえ、資料と合せて御持参又は御郵送ください。なお、御郵送の場合の送料は寄贈者の負担でお願いします。

・寄贈は可能であれば2部お願いします。

〈送付先〉

〒862-8612 熊本市中央区出水2丁目5番1号  
熊本県立図書館「震災関連資料(郷土資料)担当」宛て  
TEL 096-384-5000

▶ 戻る

2017.03.01

開館状況について

平成29年1月6日

熊本県立図書館の開館状況について

平成29年1月6日から、提供サービスは下表のとおりとなります。

なお、カウンターは1階のみとなりますので、ご了承ください。

※現在の開館時間は、午前9:30から午後5時15分です。

部分閉館期間中の図書館サービス概要一覧表(1階部分のみ利用可)  
(平成28年1月6日～1月13日)

熊本県立図書館

※の印・・・休館日と関係なく実施できる項目  
○印・・・一部実施はありますが、原則実施できる項目  
×印・・・工事のためやむを得ず、実施できない項目

サービス項目	これまでのサービス	1階閉館のサービス	備考(一般利用者用)
<b>1 閲覧</b>			
① 児童書	◎	◎	ご利用いただけます。
② 一般書・児童書研究書	X (紙質のみ)	○	原簿、閲覧可能です。但し、臨時閲覧スペース(1階子ども図書室)にない図書等は、職員が取りに行くので、時間を要します。また、工事により立入禁止区域の図書等については、閲覧の申請に日数をいただく場合がありますので予めご了承ください。
③ 雑誌・行政・動画資料	X	○	
④ 新聞・雑誌	X (最新の前巻のみ)	○	原簿、閲覧可能です。但し、新聞マイクロフィルム及び新聞の一部(古い時代のもの)はメンテナンス等のため巻休でまよふたので予めご了承ください。
⑤ 古文書	X	○	複製古文書のみご利用いただけます。
<b>2 貸出</b>			
① 一般貸出	X (紙質のみ)	○	原則、貸出が可能です。但し、臨時閲覧スペース(1階子ども図書室)にない図書等は、職員が取りに行くので、時間を要します。また、工事により立入禁止区域の図書等については、貸出の申請に日数をいただく場合がありますので予めご了承ください。
② 貸出期間延長	◎	◎	ご来館時、お電話、ホームページで受け付けています。
<b>3 返却</b>			
① 返却	◎	◎	1階子ども図書室、資料カウンター及び返却ポストで返却いただけます。
<b>4 図書に係るその他サービス</b>			
① 図書検索、検索欄(アナタ)及びホームページでの利用	○	○	利用可能です。但し、臨時の検索欄に限りがあるため、お持ちいただく場合があります。ホームページからの検索は従来同様ご利用いただけます。
② レファレンスサービス ※1	X	○	利用可能です。但し、工事のため必要な図書等が使用できない場合があります。ご依頼から回答までに日数をいただく場合があります。
③ 複写サービス	X	○	利用可能です。但し、臨時のコピー機に限りがあるため、お持ちいただく場合があります。また、工事のため立入禁止区域の図書等の複写については、申請に日数をいただく場合があります。
④ 相互貸借 ※2	○	○	原則、貸出可能です。(工事のため立入禁止区域にある図書等を除く)
<b>5 貸出予約</b>			
① 窓口での予約	X	◎	貸出中の図書についてご利用いただけます。
② ホームページからの予約	X	◎	
<b>6 インターネット利用等</b>			
① インターネット利用	○	○	利用可能です。但し、臨時の端末数に限りがあるため、お持ちいただく場合があります。
② 新聞等のデータベース利用	○	○	
<b>7 館内施設利用</b>			
① くまもと文学・歴史館	◎	◎	ご利用いただけます。
② 会議室・研修室、学習スペース	X	X	工事のためご利用いただけません。

※1 図書資料を使って調べものをレポートすること。 ※2 相互貸借: 図書館間で圖書の貸し借りを行うこと。

## 2 被災図書館の支援（「国立国会図書館月報 671 号 掲載一部抜粋」）



国立国会図書館（以下「NDL」）は、「保存協力プログラム」に基づき、国内外の図書館等の資料保存を促進するための活動を行っています。この活動には、地震や洪水などの災害により被災した図書館等の求めに応じた支援もあります。東日本大震災では、吉田家文書等の被災資料復旧支援<sup>1</sup>を行いました。本稿では、その後の被災図書館への支援について紹介します。

常総市立図書館  
熊本県立図書館  
ネパール国立図書館

# 被災図書館の支援



## 被災図書館の支援

### 熊本県立図書館 — 職員を派遣して研修

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震により、熊本県内では多くの図書館が被災しました。その一つである熊本県立図書館では、地震の衝撃により照明器具や書架など屋内設備の一部が損傷、また多数の資料が落下し約 2700 点が破損するなど、大きな被害を受けました（写真 6）。

#### < 職員の派遣 >

被災資料の救済要望を受け、NDL は同年 7 月 27 日から 3 日間、資料保存課職員 2 名を派遣し、被災資料の状態確認や県立図書館職員への修復技術指導を行いました。

まず、館内の被災状況をヒアリングし、破損資料の状態確認を行いました。ほとんどの資料が外装、あるいはそれに伴う綴じや本の中身（本文紙）

に破損が見られ、落下の衝撃の強さが伺えました。協議の結果、修復を必要とする資料の中でも代替物を入手できない資料約 120 点を優先的に処置することとし、それらを損傷度別に仕分けしました。その中でも比較的容易に補修できると判断したものについて、職員の方に実際に修復作業を行ってもらうこととしました（写真 7）。

#### < 研修と実習 >

実作業に入る前には、基礎的な補修技術に関する研修を行いました。主な研修項目は、①ページの破れに対し、和紙やでんぶん糊など長期保存に適した材料を用いる補修方法、②外れた背表紙と本文紙の間に筒を使って接着する補修方法、③簡易的な保存容器の一種である「簡易帙」の実習、④水損資料の対処法とカビが発生した資料のクリーニングの実演です。

これらの研修を踏まえた上で、被災資料の修復に取りかかりました。適宜講師が助言を行いなが



ら、職員自身が補修を進めていきます。この作業を通じ、2日間で破損資料約80点の修復処置をすることができました。様々な破損資料の修復を経験することで、基礎的な技術と判断力を身につけてもらうことができたとと思います。残りの資料については、現在も継続的に補修が進められているとのことです。

#### <本格修復>

また、県立図書館での修復処置が困難と判断した5点については、NDLへ搬送し本格修復を行うこととしました。綴じ糸の切断やページの分離など、いずれも資料の構造自体に損傷が見られる資料であり、修復するには専門的な道具や技術が必要でした(写真8)。この5点についても、常総市立図書館の被災資料と同様に長期保存に耐える

修復を行いました。

作業の流れとしては、まず本文紙と表紙を取り外し、背についた古い接着剤を取り除きます。傷んだページを和紙とでんぷん糊で補修してから、麻糸や接着剤などで再び本文紙を綴じ直します。資料の破損状態や綴じ方によっては非常に手間のかかる作業です。その後、表装材も補修を行います。表紙布が著しく破損した資料には内側から新たに同系色の布を接着し補強しました(写真9)。最後に本文紙と表紙を接着して完成です。

県立図書館と協議しながら修復を進め、平成29年1月11日に作業を終え、資料を返却しました。手当てした資料が再び多くの方に活用されることを願います。



編 集 熊本県立図書館  
発 行 熊本県立図書館  
          熊本市中央区出水 2-5-1  
          TEL : 096-384-5000  
発行年月 平成30年10月